

明日香・聖徳通信

令和6年6月19日発行 校長 角田 哲典 第3号

梅雨の季節を迎えアジサイのつぼみが膨らみ、色づき始めました。自然の植物がたくましく伸びゆく様子は、私たちに勇気と希望を与えてくれます。草や木の生長にとってなくてはならないのが、雨の日であり、またよく晴れた日です。どちらもちょうど良いバランスで繰り返されるので、幹や枝は大きくなり、葉は勢いよく生い茂ります。もし、雨ばかり降っていけば、植物は根が腐って育ちません。逆に、晴れの日ばかりでも、水分がなくなって枯れてしまいます。



そう考えると、子どもの成長にも雨と晴れのように相反する動きかけが必要かも知れません。子ども達の成長の中で「雨」や

「晴」にあたるのが「やさしさ」と「きびしさ」と思います。子どもたちは生活の中で失敗を繰り返しながら成長していきます。その時、注意されたり、優しく声をかけられたりすることによって的確な判断ができる人になっていきます。「やさしく、きびしく」この繰り返しが、社会の一員として「自覚を持った人」へつながっていくのだと思います。

幼小中教職員合同研修会開催

明日香村では幼小中の教職員が「明日香村の教育目標」や「めざす子ども像」を共通理解し、連携を密にして情報共有する機会を設けています。その一つが幼小中教職員合同研修会です。年4回開催しています。第1回目となる合同研修会を6月11日に開催しました。

今回は「問題解決能力の向上」を目指して、幼小中において授業公開（小中は算数科・数学科の授業）及び奈良教育大学准教授舟橋友香先生からの講演、その後のグループ協議で日頃の実践を通し交流しました。

今後も一貫教育の目標である「自立した明日香っ子」の育成を目指し、幼小中の教職員がワンチームとなり研修を行い、教育活動に活かしていきます。



校外学習・修学旅行実施（中学校）

先日1年生・2年生の校外学習、そして3年生の修学旅行を実施しましたが、全学年とも天気にも恵まれ、無事全行程を行うことができました。

校外学習や修学旅行実施にあたって、それぞれの学年の実行委員が中心となって、意義・めあてをたて、それに基づいての活動でした。葉に目を通すと目標の中にどの学年も「集団活動」についてのフレーズが組み込まれていました。

1年生は、「班活動を通して集団活動の基本を身につける」2年生は「グループ研修や宿

泊を通して、生徒同士の絆を深める」3年生は「班活動の集大成として少人数の中での各自の役割を自覚し互いに協力し合うことによって望ましい人間関係を形成する」でした。

集団作りは一朝一夕にできるものではありません。この校外学習や修学旅行を通して得た成果や課題を一つのきっかけとして、さらに学校生活・社会生活の中でも、しなやかな人間関係を構築してほしいと願っています。



（国会議事堂前）



（東京ディズニーランド）



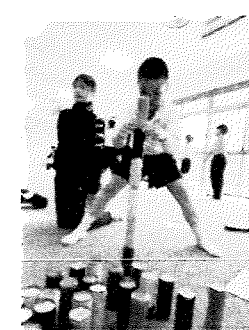
（浅草寺）

野外活動実施（小学校）

5年生は「自らの生活を自らの力で作り出す達成感を体験させる」「仲間と協力しあい、友だちとつながる喜びを実感させる」「自然に親しみ、心と体を鍛える」をねらいに掲げ、国立曽爾青少年自然の家において野外活動を実施しました。一日目は本降りの中での活動となりましたが、「雨には雨の楽しみあり」で、雨天プログラムで大変盛り上がりました。各自が役割分担をきちんと果たすこと、気力・体力・忍耐力を鍛錬する場面もあり、一人一人の成長を感じられるいい機会となりました。



（カレー作り）



（チャレンジランキング）



（キャンドルファイヤー）

授業参観及び保護者懇談会（中）・児童引き渡し訓練（小）

小学校では授業参観後、「児童引き渡し訓練」を実施しました。引き渡し訓練とは、地震等の災害が発生したことを想定し、保護者に迎えに来てもらい、子どもを引き渡す訓練です。どのような手順で子どもを引き渡すか、確実に引き渡すにはどうすればいいかを再確認できました。保護者の皆様ご協力ありがとうございました。

中学校では参観後、3年生は高校受験に向けての進路説明会を実施しました。今後、ご家庭と連携しながら本人の自己実現に向けて進路保障を行っていきます。

